【部課名： 健康こども部　子育て応援課　】

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
母子健康診査事業	妊産婦・乳幼児の疾病の早期発見と健康の保持増進及び育児支援を目的とする。 妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、乳幼児健康診査、経過観察健診、歯科健診を実施。	指標：乳幼児健診受診率 総計の現状値：96.88% R7実績値：99.05%	妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。成果として、乳幼児健診受診率の増加にもつながった。	健診実施にかかる人員確保が課題となっている。保健師や看護師等専門職をはじめ、医師の確保についても課題が生じているため、委託等の導入も検討する必要があることから、令和8年度の新規事業である5歳児健診において、医師・保健師・保育士の3職種の派遣を導入。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	81,016	(76,872)
R7決算見込額	81,835	(77,581)
R8予算額	85,524	(79,079)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
母子健康管理事業	母子及び乳幼児の健康保持及び増進を図ることを目的とする。 母子健康手帳交付、妊娠8か月面談、両親教室、離乳食講習会、幼児食相談会、育児相談、家庭訪問、産後ケアなどを実施。	指標：乳幼児健診受診率 総計の現状値：96.88% R7実績値：99.05%	妊娠届出時の全数面接や家庭訪問、育児相談・教室、産後ケアなどを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実が図れた。今後も、シームレスな支援を意識し、事業を継続していく。	産後ケア事業では、委託先の拡充により、利用者は増加したが、多様なニーズに対応するために、更なる提供体制の充実が必要である。令和8年度からは、大阪府の集合契約へ参加し、利用可能事業者及び利用可能サービスの種類の増加により、利便性の向上と更なる利用促進を目指す。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	3,402	(1,434)
R7決算見込額	6,340	(1,479)
R8予算額	8,169	(1,683)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
妊娠・出産・子育て応援事業	妊婦の健康づくりと、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談の充実を目的とする。 マタニティ応援プロジェクト、にこにこベビー訪問、妊婦支援給付金事業の実施。	指標：乳幼児健診受診率 総計の現状値：96.88% R7実績値：99.05%	栄養価の高い金芽米10kgを妊婦に毎月配る「マタニティ応援プロジェクト」においては、令和7年度は延べ3,782人へ配布し、妊婦の健康増進や、出生児の体重増加への寄与を示唆した。 7か月児を対象とした訪問時に育児相談・支援を主目的とした「にこにこベビー訪問事業」においては、50,000円分のギフトカードも配付し、多面的な支援を実現できる事業として実施した。 妊婦支援給付金事業においては、申請時に育児相談等面談を行うことで、伴走型支援も同時に行うことができた。	マタニティ応援プロジェクトについては、引き続き食による妊婦の健康増進に取り組む。 にこにこベビー訪問については、子育て支援だけでなく、シビックプライドの醸成と地域経済への寄与ができるよう、委託業者と連携しカタログギフトに掲載する地域商材を増やす取組みを継続して行う。 令和7年度から法定化された妊婦のための支援給付事業については、今後も適正給付に努め、伴走型支援と一体的に取り組む。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	妊娠・出産・子育て中の家庭への切れ目ない支援体制の充実を目指します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	96,623	(2,839)
R7決算見込額	119,489	(63,297)
R8予算額	141,555	(70,324)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
障がい児通所支援施設処遇改善事業	関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター（障がい児通園施設）及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。	指標：児童家庭相談数　総計の現状値：673　R7実績値：838	本格的な早期療育の機会を提供することにより、こどもたちの将来にわたる自立の促進に寄与する事ができた。	本市のこどもたちが当施設に通うことが、こどもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れできている。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,715	（525）
R7決算見込額	1,545	（525）
R8予算額	3,075	（525）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
発達支援事業	こどもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制）の充実を図ることを目的とする。発達支援シームレスケア体制構築のため、①発達に支援を要するこどもへの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。	指標：児童家庭相談数　総計の現状値：673　R7実績値：838	①発達の早期気づきと早期発達支援：2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。　②発達障がいの理解の促進：発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知をすすめるとともに、巡回相談や職員向け研修により支援力の向上を図った。　③家族支援：発達相談や発達支援教室における保護者支援の他、ペアレントトレーニングや発達支援講座を実施。　④切れ目ない支援体制づくり：「わたしノート」（サポートブック）の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目のない支援体制の強化を図った。また、所属する園所や児童発達支援センターとの連携により、スムーズな支援へのつなぎや、支援方針の共有による発達支援の強化を図った。	発達障がいや発達支援についての理解をすすめるための周知・啓発の検討及び地域の支援力向上に向けて児童発達支援センターと共に検討していく必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	2,409	（0）
R7決算見込額	3,531	（0）
R8予算額	4,627	（0）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
団体等育成支援事業（母子福祉会）	泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。 泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会（隔年実施）の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。	指標：こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合　総計の現状値：58.1%　R7実績値：50.3%	母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。	母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	子育て家庭の不安を解消し安心して子育てできるよう家庭や地域の子育て力の向上を目指します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	359	359
R7決算見込額	188	188
R8予算額	374	374

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
ひとり親家庭医療助成事業	医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。 ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり１日５００円の自己負担を上限に公費で助成する。（同月同病院であれば月２回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。）	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合 / 58.1% / 50.3%	医療費の一部を助成することによるひとり親家庭への経済的支援により、生活の安定と児童の健全な育成につながっている。	ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	54,096	26,503
R7決算見込額	54,543	27,888
R8予算額	58,678	29,263

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
子ども医療助成事業	子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うとともに、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。 満１８歳（高校３年生修了）までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関当たり１日５００円の自己負担を上限に公費で助成する。（同月同病院であれば月２回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円）	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 こどもを産み育てやすいまちだと思う市民の割合 / 58.1% / 50.3%	子どもの医療費の一部を助成することによる子育て世帯へ経済的支援を行うことにより、子どもの健康の向上と福祉の増進につながっている。	子育て世帯の経済的負担を減らし、子どもの早期受診を促し重症化予防にもつながっているが、国の制度として確立されておらず、市町村間で格差がある。年齢引き上げによる市の負担額も増えているため、引き続き国に制度の確立を要望していくとともに、府に対しても入院及び通院の対象拡大と所得制限の撤廃を要望していく。 子育て支援として効果があり、有意義な施策であるため継続して実施していく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	こどもたちが笑顔で育ち安心して育てられる子育て世代に選ばれるまち
個別目標の方向性	こどもの健やかな成長を見守りこども・家庭の状況に応じて支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	325,589	282,084
R7決算見込額	307,599	269,905
R8予算額	297,269	254,944